



目次

例会&運営委員会の報告	P.1
日々のなかから、、、	P.2
四方山話	P.3
事務局から今後の予定	P.4

明けましておめでとうございます。

本年もよろしく願いいたします。

例会&運営委員会の報告

今回は、2月に行われる市議との懇談会でのテーマが、大枠としては、防災ということに決まっていたが、詳細については未定だったので、どのように懇談会を進めてゆくかも踏まえて、話し合いを行いました。

話し合いのなかでは、様々な障害によって必要とされる支援が違うこと、例えば身体・知的障害の場合、被災した際、避難の段階で支援を必要とする事、避難生活を想定すると、体が不自由な方はトイレや電動車いすの電源、知的障害の方は大声や周囲との調和が考えられ、精神障害の場合、避難自体に支援はそれ程必要ないが、その後、薬や精神科通院、生活の変化による病状の悪化などが考えられた。

様々なケースや必要となされる支援について掘り下げてゆくときりが無い事もあり、どこまでの情報提供と、市議の方々に考えて欲しい内容についてのポイントをどう絞っていくかについて、八王子防災計画と照らし合わせながら、1月の会議で話し合う事となった。

文責：川出



八障連通信



副代表 杉浦 貢

連載コラム VOL.16
日々のなかから、、、

《前回からの続き》

支援学校の存在も頭ごなしに否定してはいけません。

盲・聾学校等において、当事者たちが独自文化として守ろうとしているものもまた、大切に尊重されなくてはならないものなのです。

障害者同士が、自律的、自決的に形作る集団・社会に専門家が土足で割って入る権利はありません。

ただ、権威と教育・療育の名の下、生活上の根拠もなく子供たちを分け隔てることには強い反発と嫌悪を感じます。

文科省も、養護学校教員も、「インクルージョンがよい」と言っています。ならば障害児の普通校への統合、包容は少しは進んでいるのかといえばそうではなく、

《日本社会全体の少子化傾向にも関わらず、むしろ特別支援学校の生徒数は近年急増し、教室数、教員数はかつてなく逼迫していると伝えられている。》

(文科省 HP 他、各地域教委のプレス発表あり)

もっとも文科省は国の生産力に寄与しない障害児教育に金を使いたくないため、特別学校の増設を望んでいないだけで、障害児の社会への包容になど関心がないのかもしれないですが…。

排除を無くし、学習参加を保障していくには、障害児学校・学級の是非を論じる以前に、通常学級を改革し、多様なニーズや学力差、あるいは個性を包摂できるようにすることが不可欠でしょう。

地域の通常学校は、すべての子どもに門戸を開放し、少なくとも希望すれば通常学級に籍を用意し、発達を最大限可能にする環境となる努力をすべきです。

通常学級に在籍しつつ、同時に個々のニーズに従って特別支援学校・学級にも在籍でき、さまざまな場での通級指導にもアクセスできる複数在籍(登録)を可能にすべきです。

子どもにとって真に居場所となれる場を、学校の中に、また地域社会の中に多様に用意されることが必要でしょう。

一人の教師が特定の子どもを抱え込むのではなく、特別支援学級や通級指導教室はインクルーシブな学校づくりの核に、特別支援学校はインクルーシブな地域づくりの核になり、共同学習や地域での協同の活動を展開しながら、学校や地域全体で子どもを見守る体制を積極的に築いていくべきです。

《次回に続きます。》

お知らせ

会費の納金を
お願いします！



今年度も早めのご入金のご協力とご理解をお願い致します。

四方山話 市議との懇談会のこと

新年明けましておめでとうございます。この通信が皆さんお手元へ届く頃には、確実に新しい年を迎えていますので、このご挨拶が一番ぴたりと来るでしょう。

各団体の皆さんにとって去年はどんな年だったのでしょうか？何かやたらと暑かったり寒かったりの印象ばかりが残ったのは、さて私だけでしょうか。それに加えて、年の瀬になってのやけっぱち解散に始まり、シツチャカメツチャカの割には盛り上がりのないW選挙の挙げ句に、予想通りに消去法での自民が大勝で、お坊ちやま君総理の再登板と、まさに先生駆け回る師走…。まるで絵に描いたように見事



な三文歌舞伎を見せられたような気がしてなりません。日本はどうなってしまうのか、今更ながらに心配な思いでいっぱいになります。

それはさて置き、実は八障連としては解散総選挙の時期を待ち望んでいました。それは毎年行っている「市議会議員との懇談会」の日程がなかなか決められなかったからです。年度当初は11月に予定していましたが、やはりという感じで先送りを余儀なくされてしまいました。ということで、今年度の懇談会は別項にもあるように、来る 2013年2月15日(金)の18時より八王子労政会館の第1会議室に於いて、開催することとしました。この懇談会は今年度で、記憶が正しければ8回目となります。切っ掛けは、2004年に開催した20周年イベントでした。正直、顔見知りの方が何人か来るくらいと鷹を括り、市議会議員全員に案内状をお送りしたところ、思いの外多くの方が来られて、こちらが泡を食う程の結果でした。その経験から、年に一度くらいは市議の方々と意見交換の場を持つこととし、翌年から基本全会派の方をお迎えして開催しています。

ただ、毎回頭痛の種となるのはテーマの設定です。当初から運営委員会としてはこの懇談会を、単に要望を伝える場ではなく、意見・情報交換、相互学習、知識を高め合う場と考えてきました。しかし、多くの市議の方は要望を受け取る機会として来られ、その矛盾は永遠の課題となっているとも言えます。さらに、八障連の場合は様々な障害種別と団体種別の混合体ですので、バランス良く全体に関わるテーマ設定がなかなか見つけられない宿命的な問題もあります。そんな中で、今回は比較的全障害に関係し、昨年の3.11東日本大震災以降、一般的にも大きな課題となっている防災の問題を基本テーマに、懇談会を進めることにしました。但し、どこから話を進めていくかは未だ白紙の状態です。12月の例会でも準備段階として検討し、1月の例会に於いても引き続き検討する予定ですが、まだまだ不安要素は取り払ってはいません。

そこで会員の皆さんにお願いです。各団体で進めている防災に関する試みや、具体的な活動例や提案等がありましたら、是非事務局または運営委員までお知らせ下さい。今後の準備と当日の参考とさせて頂ければと考えます。

そして、懇談会当日2月15日には、是非とも会場の労政会館へお越し下さい。ひとりでも多くの皆さんと、より具体的に建設的な意見交換の場と出来ることを望み、お待ちしております。

文責:多田

事務局から今後の予定

◆ 年会費について

現在、今年度の年会費の入金状況を確認しておりますが、数少ない運営委員で活動している為、ご面倒をお掛けしておりますが、敏速な対応ができない状況となっています。そこで、2月にはイベントなどもありますので、3月決算に向けてお願い事で申し訳ありませんが、出来る限り早めの入金をお願いできればと思っております。まだの団体がございましたら、以下までお願い致します。

会費振込先：郵便局

加入者名：八王子障害者団体連絡協議会

口座番号：00130 - 0 - 184316

◆ ボウリング大会について

今年の景品は、今までにない企画であつと驚く物をご用意しておりますので、楽しみに来場して頂ければと思っております。お待ちしております。

今後の予定

1月

運営委員会	1月	17日(木)18時～19時	クリエイトホール	第1学習室
例会	1月	17日(木)19時～20時	クリエイトホール	第1学習室

新年会	1月	25日(金)	時間:未定	場所:未定
-----	----	--------	-------	-------

2月

ボウリング大会	2月	9日(土)13時30分～	高尾スターレーン
---------	----	--------------	----------

市議との懇談会	2月	15日(金)18時～20時	労政会館	第1会議室
---------	----	---------------	------	-------